

令和元年度第4回茂原市子ども・子育て審議会 会議録

日 時	令和元年9月26日(木) 13:30～15:00
会 場	茂原市役所 市民室
出席委員	中山会長、平井副会長、田中委員、齊田委員、長島委員、佐野委員、 小枝委員、松岡委員、河野委員、萱原委員、荒谷委員
関係課	久我教育部長、渡辺教育部次長兼教育総務課長、保川学校教育課長、 金坂主幹
事務局	岩瀬福祉部長、花沢福祉部次長兼社会福祉課長、佐久間子育て支援課長、 齊藤課長補佐、岡沢子育て家庭相談室長、時田主事、 株式会社ワイズマンコンサルティング山口氏
傍聴者	0人
配布資料	・第2期茂原市子ども・子育て支援事業計画(素案) ・幼児教育・保育の無償化のチラシ

会議次第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 事
第2期茂原市子ども・子育て支援事業計画の素案について
- 4 その他
幼児教育・保育の無償化について
- 5 閉 会

あいさつ

(会長)

本日の審議会で検討する第2期茂原市子ども・子育て支援事業計画には、『子どもは社会の希望であり、未来の力でもあります。子どもたちの健やかな成長のためには、子どもの幸せを社会全体で支え合うことを前提とした環境づくりが必要です。そのためには、子育ての当事者である親や、事業者のみならず、すべての市民が「茂原で子どもを育てる」という意識の啓発も重要であると言えます。本市の未来を担う子どもたち一人一人が生き生きと輝くことができるよう、地域が一体となった「みんなで育てる」まちを目指し、本計画を推進していきます。』と、計画の基本理念が記載されています。この文言の実現のために、我々がやらなければならないことは沢山あると思います。皆様、本日もよろしくお願ひいたします。

議事

第2期茂原市子ども・子育て支援事業計画の素案について

(事務局)

<資料に基づき説明>

(委員)

8ページの(4)合計特殊出生率について説明をお願いします。

(事務局)

合計特殊出生率とは、人口統計上の指標で、一人の女性が出産可能とされる15歳から49歳までに産む子どもの数の平均を示すものです。

(委員)

16ページの(5)学童クラブの利用者数のグラフの凡例に「3年生」の記載が漏れています。

(事務局)

修正いたします。

(委員)

46ページの(5)養育支援訪問事業について、茂原市では養育支援が必要と市が判断した家庭を対象に保健師等による育児不安の解消に向けた専門的相談支援のみを実施していますが、見込量については、食事等の生活環境を整えるための育児家事援助の利用者も見込まれていますか。

(事務局)

見込量については、専門的相談支援のみ見込んでいます。

(委員)

子育て短期支援事業について、茂原市が運営主体として事業を実施することはできないのですか。

私も以前、市外の事業者から子育て短期支援事業の実施について相談を受けたことがあります。ニーズは高いと思いますので、市から事業者へ広く周知啓発を行っていただきたいと思います。

また、様々な理由で一時的に育児が困難となることは、必ずどの家庭でもあることです

が、母子家庭の児童や虐待児童を対象とした事業では、保護者は利用がしにくくなります。子どもを預かる事業については、利用にあたって条件を設けたりするのではなく、全ての子育て世帯を対象に子どもを預かる事業を広く実施するべきだと日々感じています。

(事務局)

子育て短期支援事業については、市内では実施事業者の確保ができないのが現状です。今後も事業者への周知啓発に努めてまいります。

(委員)

49 ページの(10) 病児保育事業について、1日4人の定員では少ないと感じます。また、第1期計画の実績に記載されている確保方策の単位が「か所」ではなく「人日」となっています。

(事務局)

病児保育事業の実施については、病院との連携が必要となりますので、今後も医師会等と連携を図り、実施事業者への周知啓発に努めてまいります。

また、確保方策の単位については修正いたします。

(委員)

53 ページの「事業番号4 地域の力を生かした子育て支援」に記載のあるブックスタート事業については、自分の子どもが利用したことがあります。その際、市から指定された本の配布があったのですが、その本は子どもの年齢に見合わないものでした。また、兄弟がいると同じ本が配布されることもあるので、例えば、本ではなく図書カードを配布することはできないのでしょうか。

(事務局)

ブックスタート事業の担当課である生涯学習課に伝えます。

(委員)

56 ページの「基本目標2 母性と乳幼児等の健康の確保及び増進」についてですが、母性という言葉は誤解されやすい言葉なので、母性となっている部分を母親という言葉に変更することはできますか。

(事務局)

市の計画に記載する文言なので、母性という誤解されやすい表現の記載については、検討するべきだと思います。

(委員)

母性という言葉については、女性のあり方について、強制的なイメージを持たれやすい言葉だと感じますので、記載にあたっては検討が必要だと思います。

(委員)

誤解を持たれないような表現が良いと思います。

(事務局)

本計画は、長生郡市次世代育成支援対策地域行動計画を引継ぎ、分野別施策として位置付けているため、基本目標については同様の標記となっています。本計画における標記については検討いたします。

(委員)

38 ページの「教育・保育の提供区域の設定」について、茂原市は全市 1 地区と設定しており市全域でサービスを展開していくことによって、広範囲の子どもを柔軟に受け入れられるため、運営が安定し、サービスを持続して提供しやすくなることが考えられるとあります。1 地区としたことによるメリットを感じている保護者の声を本計画に掲載した方がよいと思います。

(委員)

本計画では、様々な事業により幅広い子育て支援を実施していると感じました。ただ、49 ページの (10) 病児保育事業など、各事業の確保方策についてはもっと増やすべきではないかと思います。

その他

幼児教育・保育の無償化について

(事務局)

<資料に基づき説明>

(事務局)

ご意見・ご質問等はございますか。

(会長)

保育料の支払い方法について伺います。

(事務局)

保育料の支払いについては、公立、私立保育所を問わず月々の支払いとなります。

(委員)

無償化の補助の対象とならない施設があると聞きましたが、茂原市はそういった施設はありますか。

(事務局)

茂原市内で「子どもを預かる事業を行っているが、県に認可外保育施設として届出ていないもの」については、無償化の補助対象とはなりません。また、市町村は条例で定めれば、認可外保育施設の一部を補助対象から除外することが可能ですが、茂原市ではそうした制定はせず、全ての認可外保育施設を補助対象といたします。

(事務局)

最後に事務局よりご連絡をさせていただきます。

次回の審議会ですが、11月12日(火)の開催を予定しております。内容といたしましては、本日のご意見や10月下旬に開催を予定している庁内策定会議の意見を踏まえて修正した素案について、ご審議いただきたいと考えています。後日、開催案内を送付させていただきますので、よろしくお願いいたします。

また、本日の議事録を後日郵送させていただきますので、加筆修正等がございましたら、次回の審議会の中で確認させていただき、その後に茂原市ウェブサイトにて公表したいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

閉会

(事務局)

長時間にわたり慎重なご審議を頂き、ありがとうございました。以上をもちまして「令和元年度第4回茂原市子ども・子育て審議会」を閉会させていただきます。お疲れ様でした。